

中期経営計画 『Vista2015 StageⅡ』

～変革への挑戦、
そして勝ち続ける企業へ～

2013年5月14日

 日産化学工業株式会社

目次

1. Stage I 総括

- 1) 損益
- 2) 事業基盤の整備
- 3) 課題

2. Stage II 概要

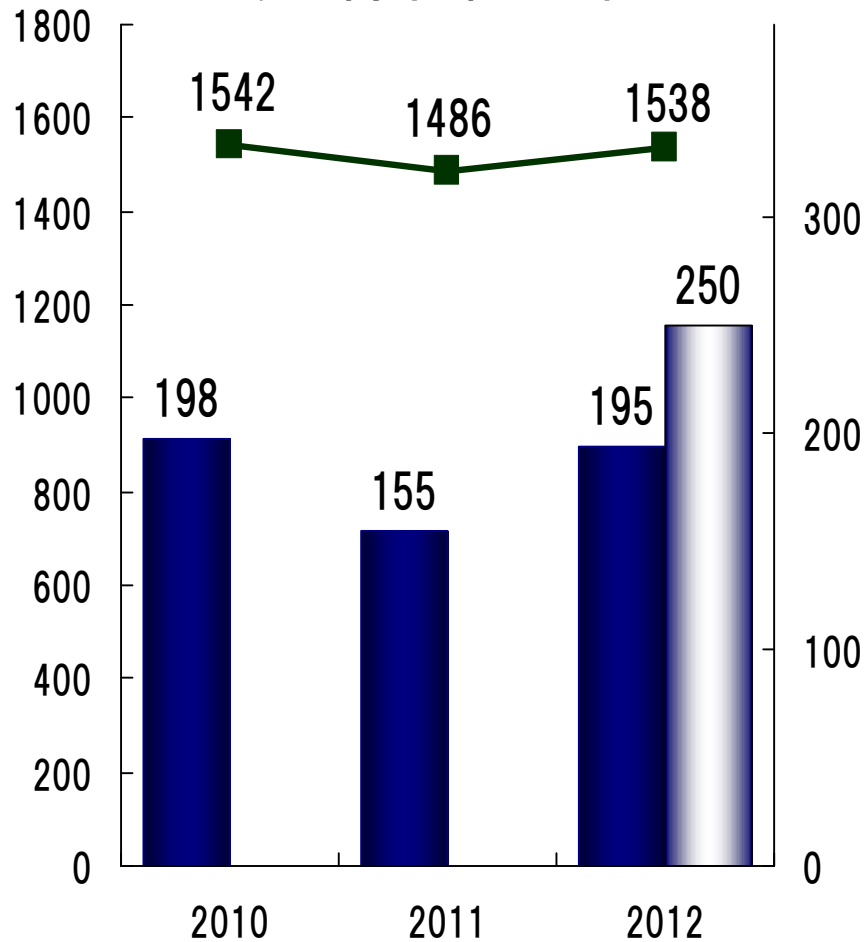
- 1) コーポレートビジョン
- 2) 2015年のあるべき姿
- 3) 基本戦略
- 4) 数値目標
- 5) Stage IIにおける成長の源泉
- 6) 2016年度以降に向けた取り組み
- 7) 経営指標



1. Stage I (2010年度～2012年度)総括

1) 損益(中計比)

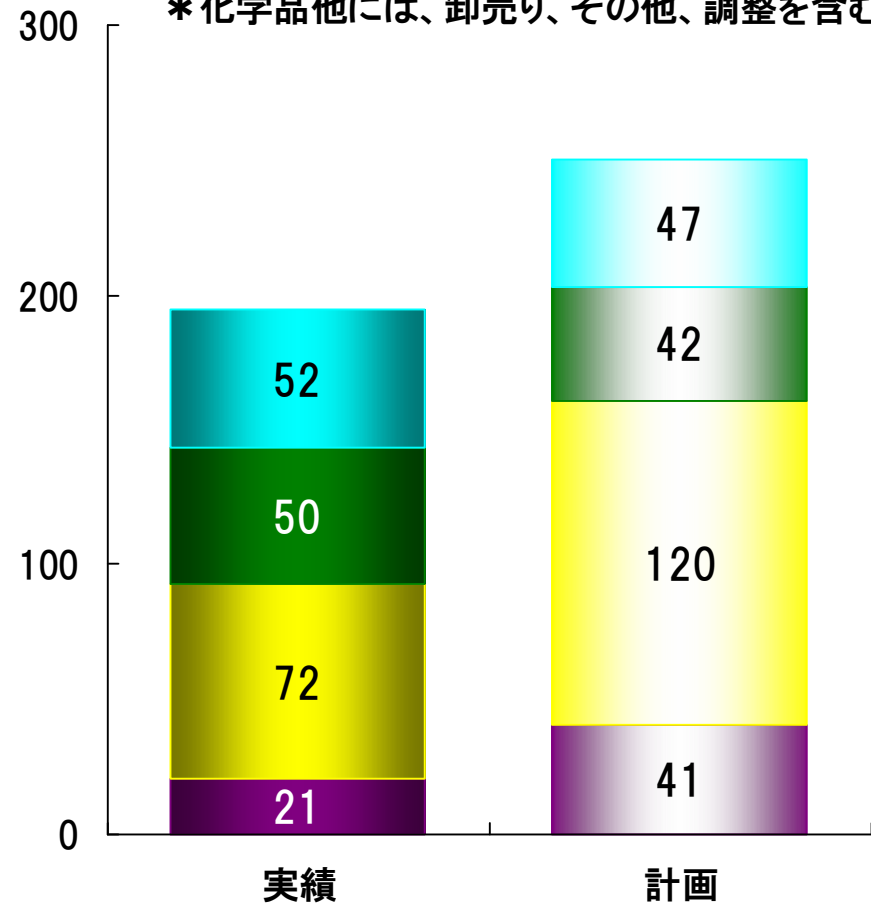
売上高・営業利益(億円)



■ 営業利益実績 ■ 営業利益計画 —■— 売上高

2012年度セグメント別営業利益(億円)

*化学品他には、卸売り、その他、調整を含む



■ 化学品他 ■ 機能性材料 ■ 農業化学品 ■ 医薬品

1) 損益(中計比)

2012年度営業利益
計画比 ▲55億円

医薬品 +5

リバロ 国内外で順調

農業化学品 +8

ラウンドアップ、チフルザミドの伸長

機能性材料 ▲48

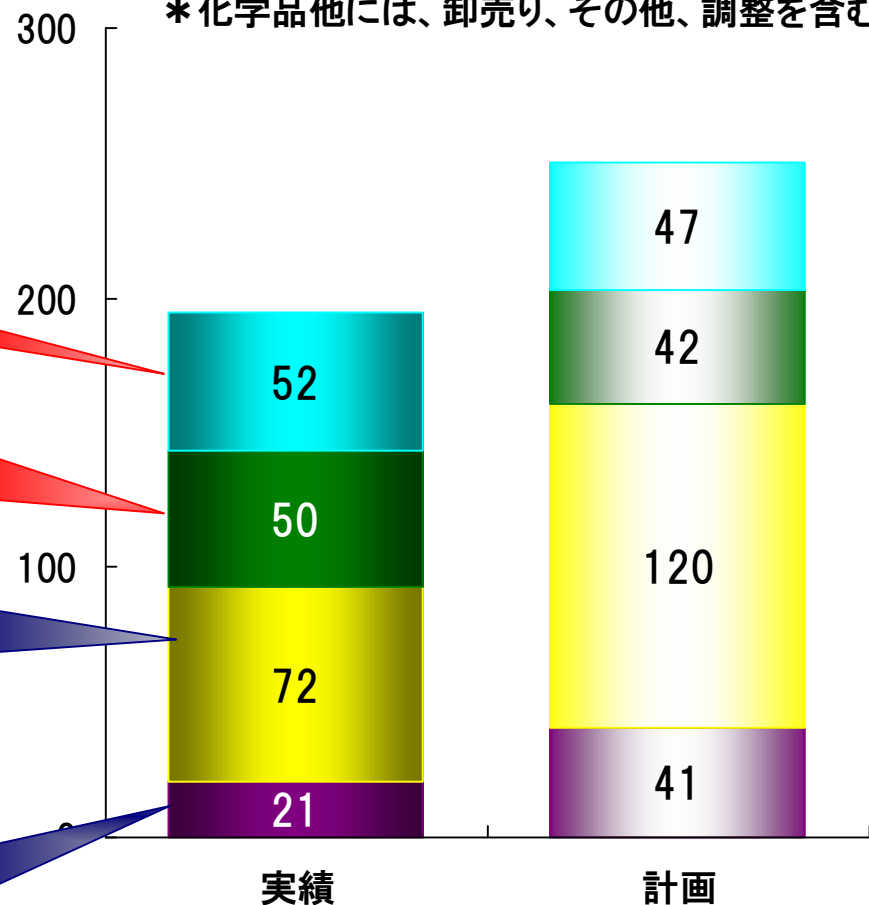
世界経済の減速による需要減少

化学品他 ▲20

工業薬品全般にわたる需要低迷

2012年度セグメント別営業利益(億円)

* 化学品他には、卸売り、その他、調整を含む



■ 化学品他 ■ 機能性材料 ■ 農業化学品 ■ 医薬品

1) 損益(前年比)

化学品 +5億円

アドブルー(高品位尿素水)
高純度薬品類

機能性材料 +24億円

IPS用ディスプレイ材料
半導体多層材料

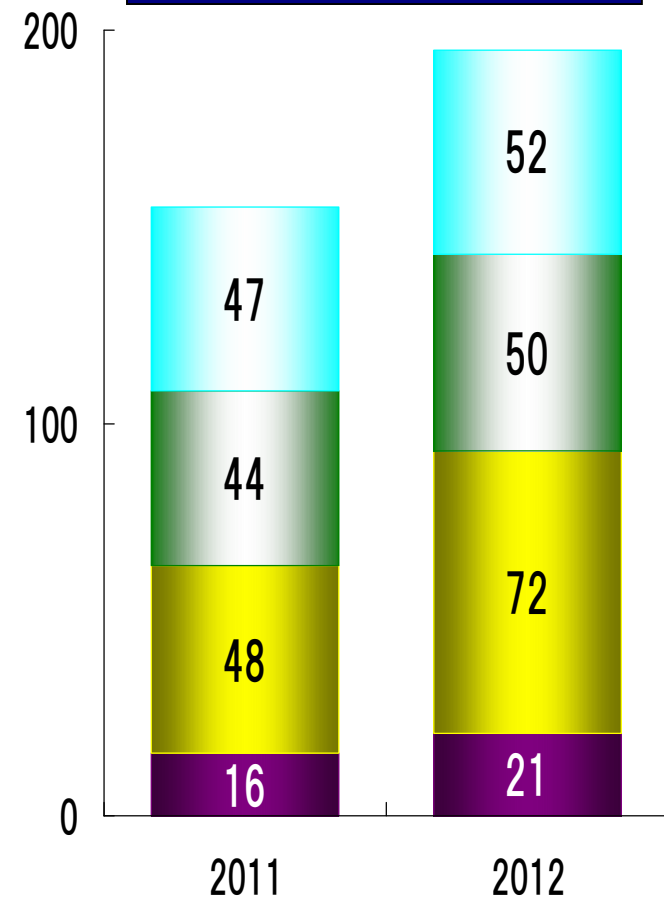
3D用光配向材

2011年度
販売開始

新製品



**2012年度営業利益
前年比 +40億円**



■ 化学品他 ■ 機能性材料 ■ 農業化学品 ■ 医薬品

1) 損益(前年比)

農業化学品

+6億円

チフルザミド(殺菌剤)

ラウンドアップマックスロードAL



2010年度
販売開始

新製品

1.2ℓ

2ℓ

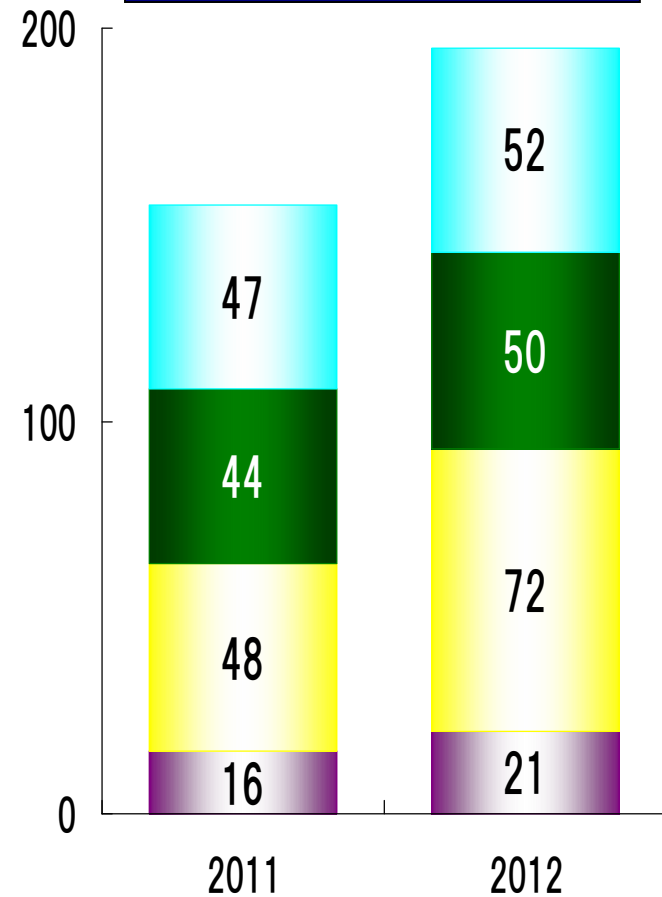
アルテア(水稲用除草剤)

上市
2011年度韓国、
2012年度日本

原体工場(小野田)
2012年9月完工



2012年度営業利益
前年比 +40億円



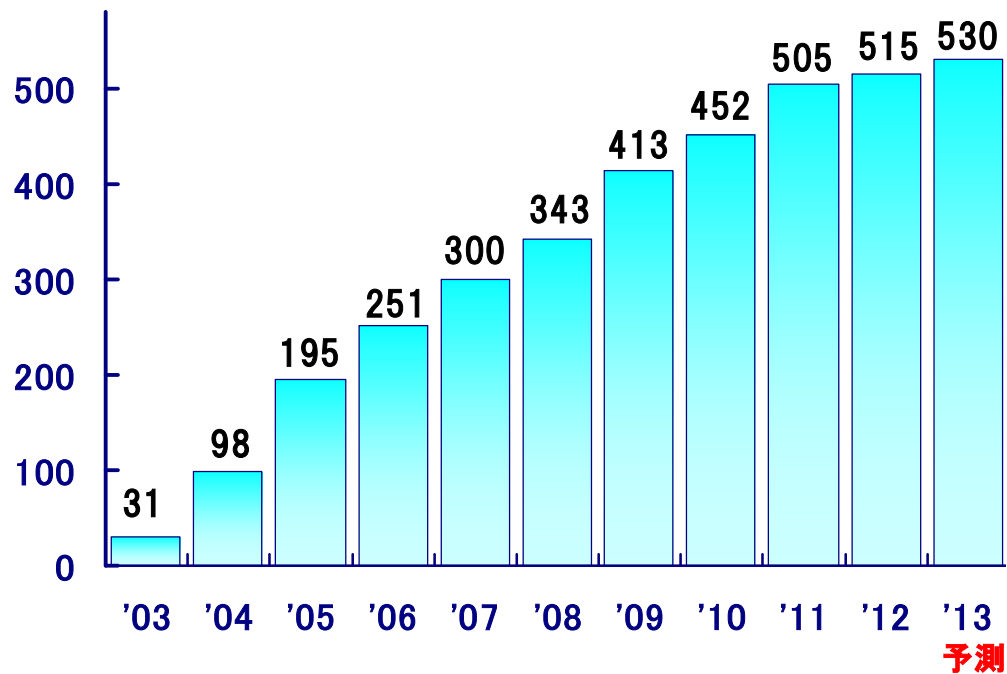
■ 化学品他 ■ 機能性材料 ■ 農業化学品 ■ 医薬品

1) 損益(前年比)

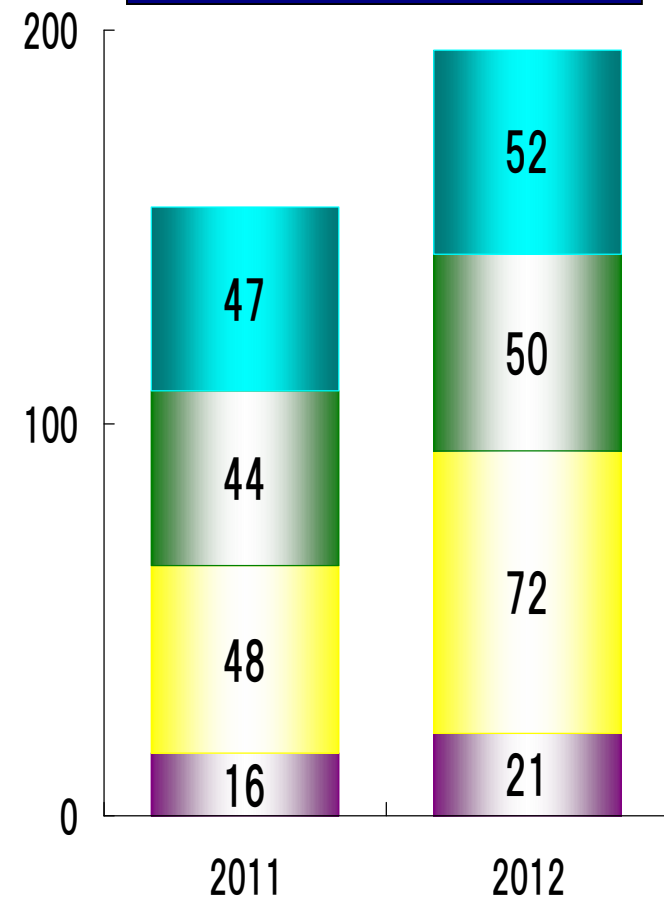
医薬品

+5億円

リバロ末端売上高(億円、薬価ベース)



2012年度営業利益
前年比 +40億円



■ 化学品他
 ■ 機能性材料
 ■ 農業化学品
 ■ 医薬品

2) 事業基盤の整備

生物科学研究所整備計画

2011年から5年間、抜本的リニューアル
医薬の評価力および

農薬の温室管理機能強化
新たなライフサイエンス材料の研究

研究本館2011年12月完成



人工気象室
2013年2月完成



海外拠点の拡充

台湾日産化学設立(2010年10月)
R&Dセンター業務開始(2011年5月)



顧客対応力の強化

イハラブラス社への出資(2011年9月)



グローバルな研究体制の構築

3) 課題

市場・顧客ニーズの把握と適切な対応

新製品の早期実需化

新たな視点からのコストダウン

海外成長市場での拡販



**課題解決に主眼を置いた成長戦略
『Vista2015 Stage II』スタート**



2. Stage II (2013年度～2015年度)概要

1) コーポレートビジョン

人類の生存と発展に貢献する企業

社会に有用な価値を提供する

機能性材料

デファクトスタンダードとなる技術の確立および
先端材料の提供

安価で十分な機能を備えた製品の供給

ライフサイエンス

食と生命に直結する農薬および医薬の新剤開発

2) 2015年のあるべき姿

成長力と安定感のある化学メーカー

機能性材料

電子

無機

有機

ライフサイエンス

農薬

医薬

化学品

化学品

3) 基本戦略

新事業・新製品の創出

事業

- 独自性の高い材料による新たなマーケットの形成
- 市場ニーズに基づく事業部開発品の戦力化
- M&A、製品買収

研究

- 当社のコア技術力を最大限に発揮するための研究体制構築
- 先端技術の導入
- 3年間の研究開発費総額475億円(前3カ年比76億円増)

事業の構造改革推進

- コストダウンによる製品の競争力向上
- 海外マーケットを見据えた事業基盤の強化・拡充
- 同業とのアライアンス

3) 基本戦略

新事業・新製品の創出

九州大学との産学連携

2006年4月～2011年3月

組織対応型連携

『基礎研究』、『応用研究』

2011年4月～2013年3月

次世代材料実用化連携

『実用化研究』

2013年4月～2016年3月

イノベーション材料創製連携

主にライフサイエンス分野
での新材料創出



3) 基本戦略

事業の構造改革推進

富山工場



あらゆる視点から
コストダウン推進
(積極的な投資)

埼玉工場



小野田工場



名古屋工場



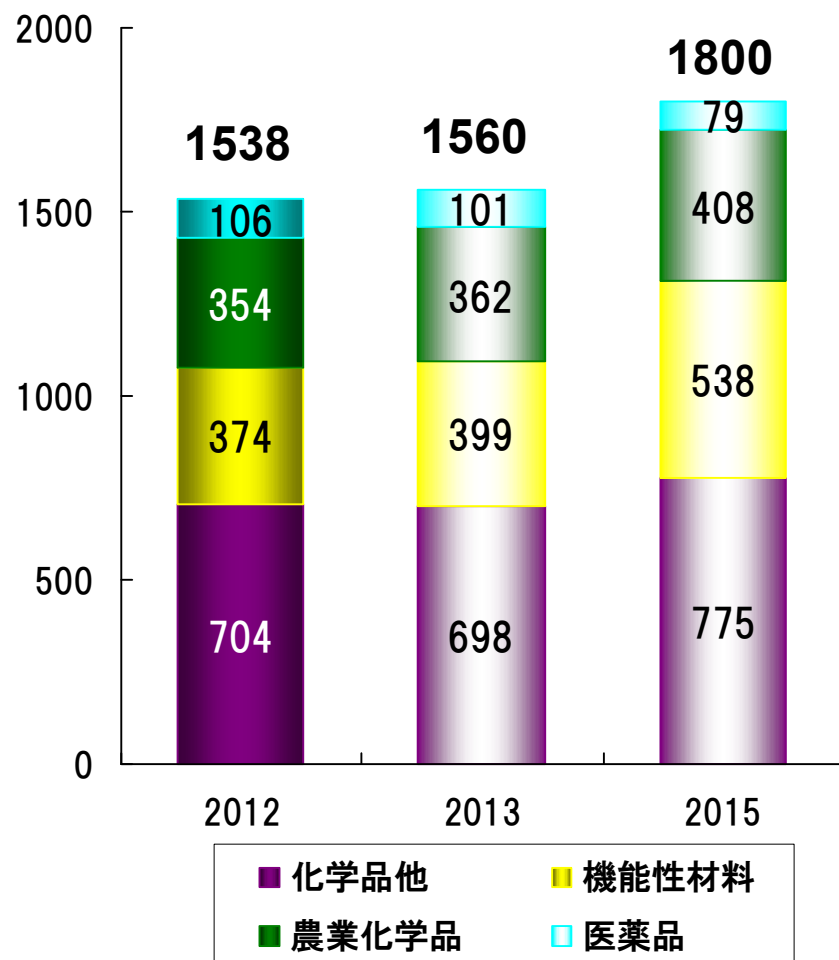
袖ヶ浦工場



4) 数値目標

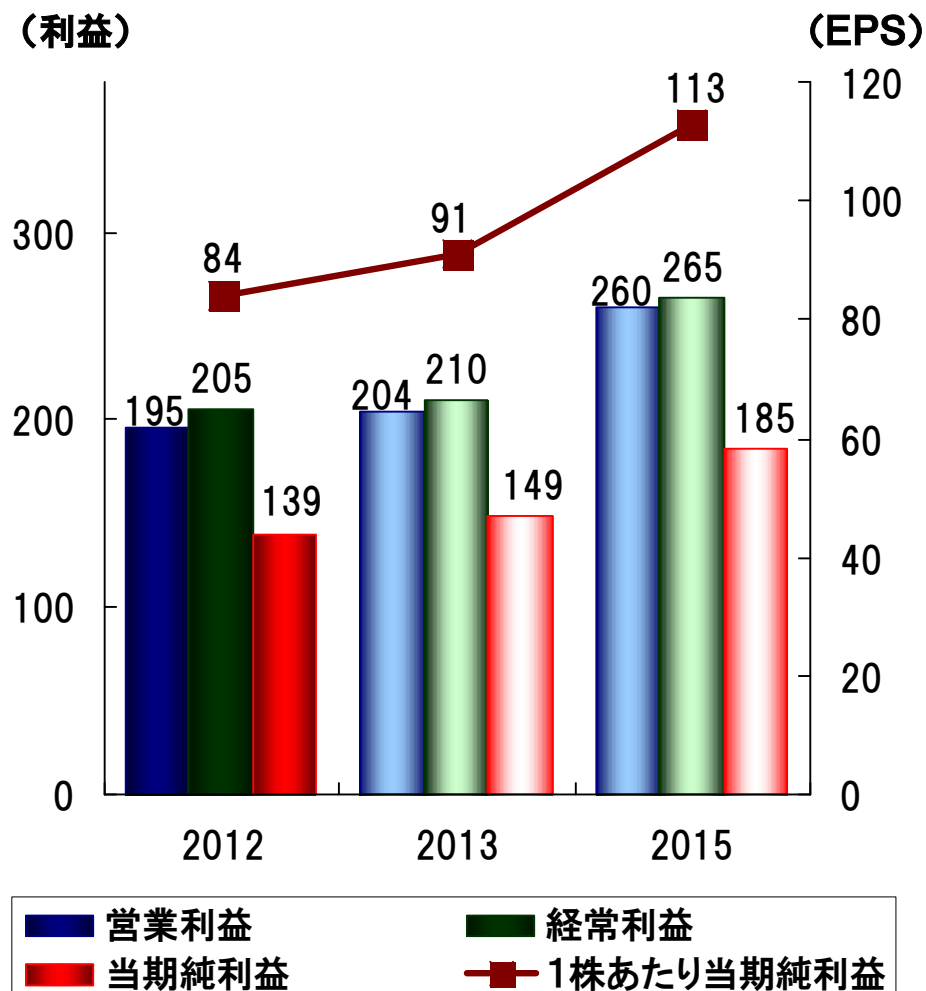
売上高(億円)

* 化学品他には、卸売り、その他、調整を含む



営業利益・経常利益・当期純利益(億円)

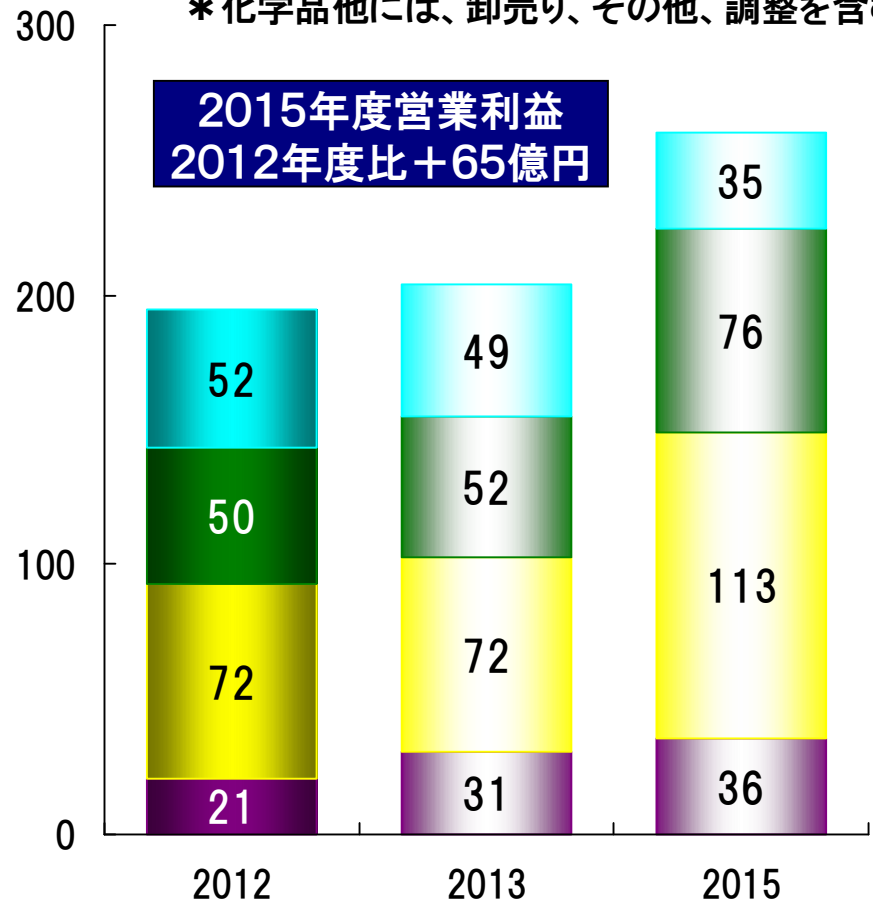
1株あたり当期純利益(円)・・・EPS



4) 数値目標

セグメント別営業利益(億円)

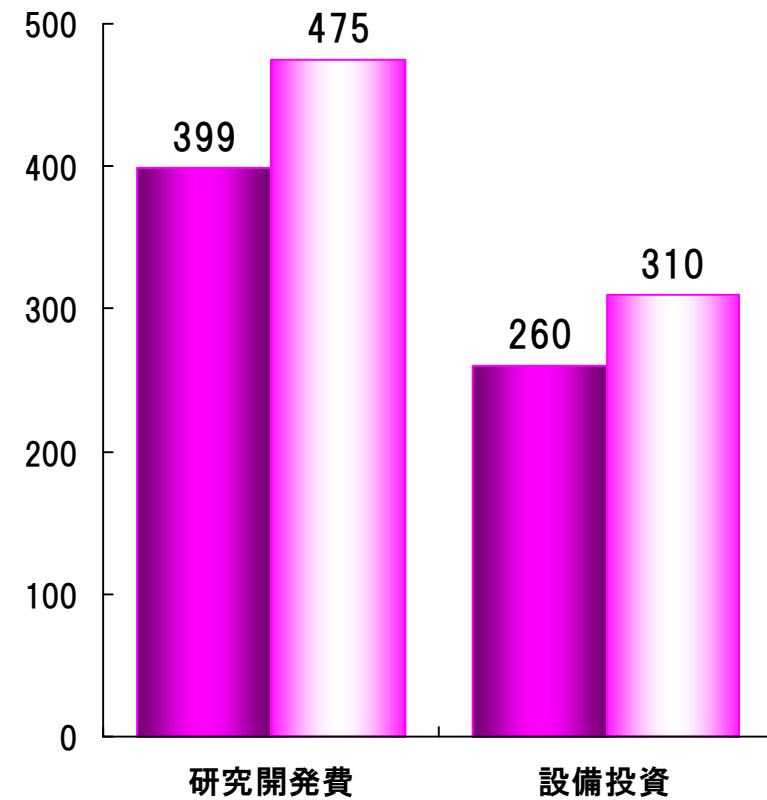
* 化学品他には、卸売り、その他、調整を含む



■ 化学品他 ■ 機能性材料 ■ 農業化学品 ■ 医薬品

研究開発費・設備投資(億円)

* 3年間累計、設備投資(稼動開始ベース)



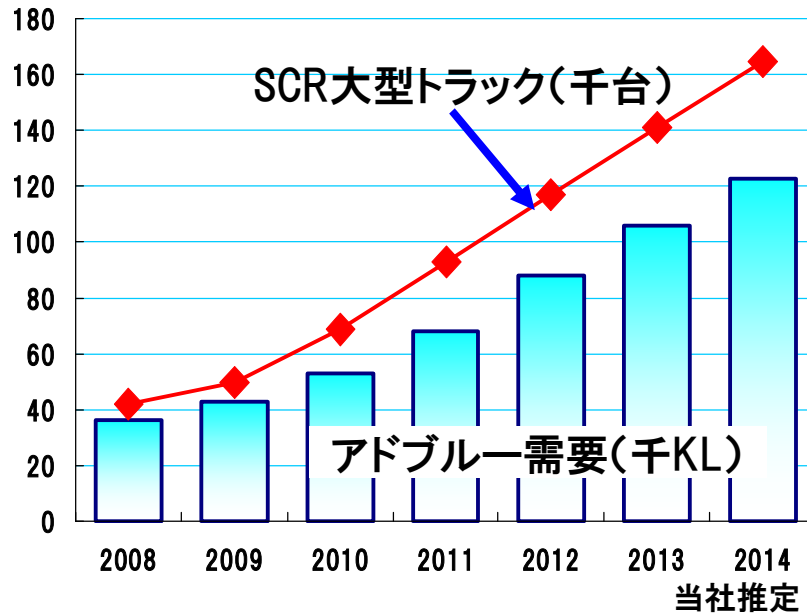
■ Stage I ■ Stage II

5) Stage IIにおける成長の源泉

化学品

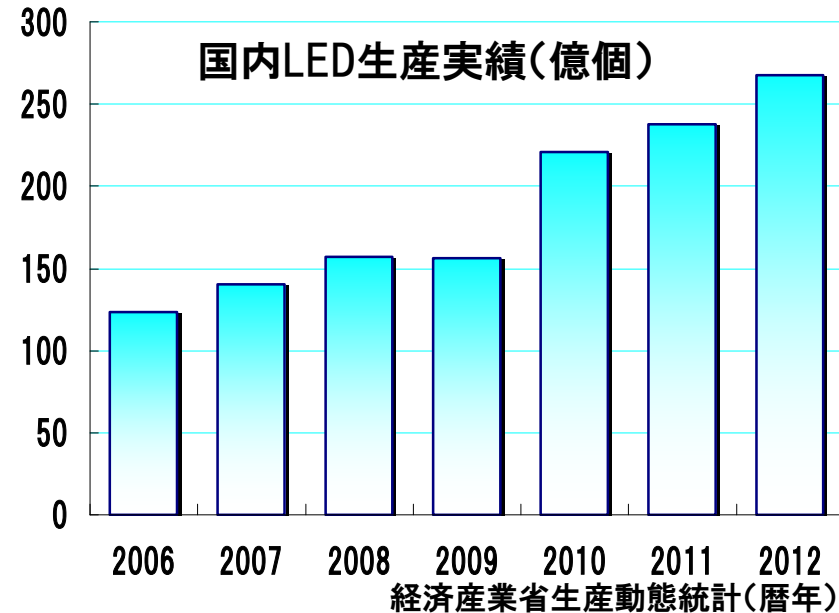
成長分野向け製品の拡販

高品位尿素水
(アドブルー)



富山に製造設備新設(12年11月)
コストダウンによる競争力強化

高純度液安

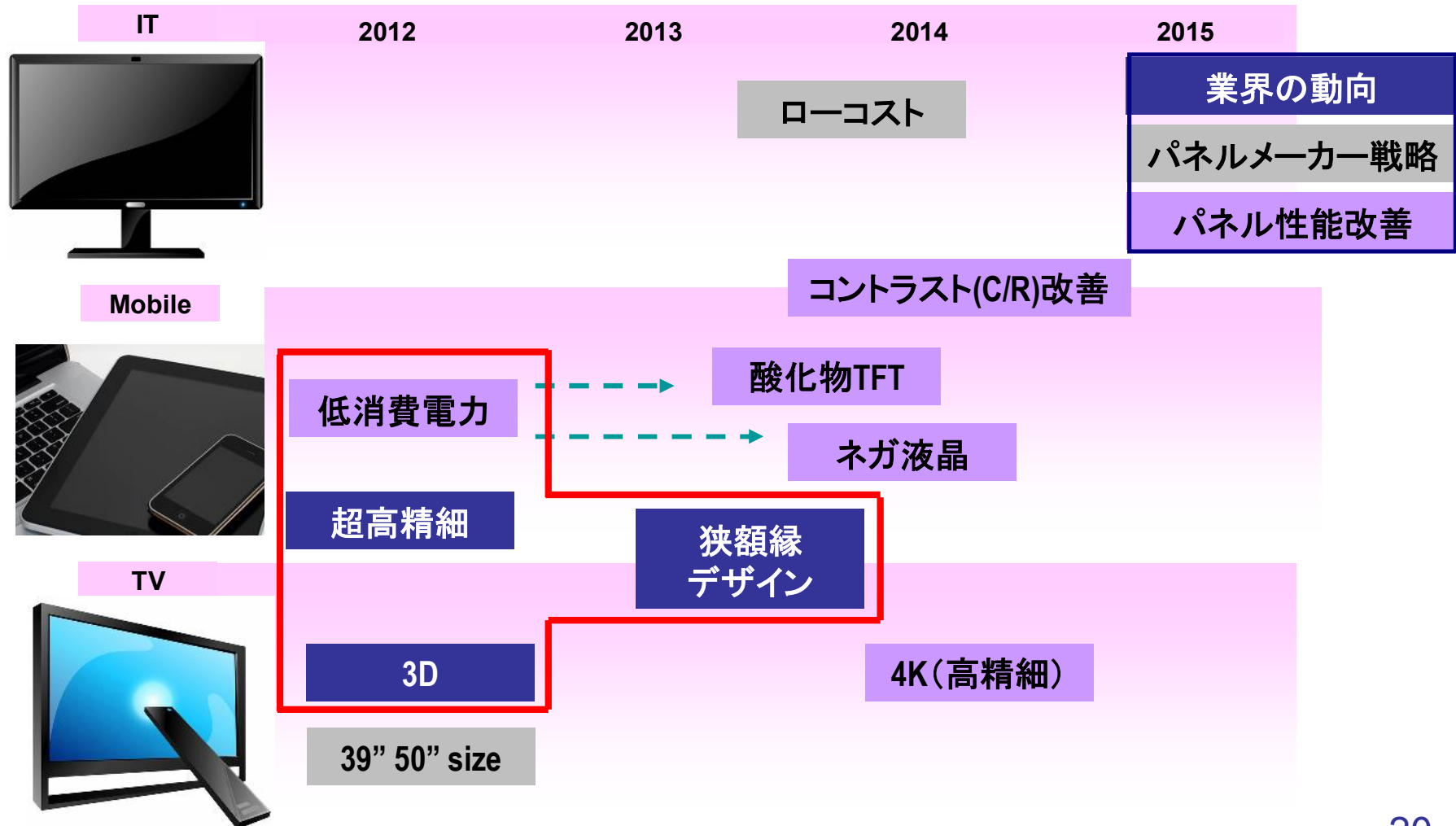


製造設備増設(13年5月完工予定)
需要増加への対応

5) Stage IIにおける成長の源泉

機能性材料

液晶ディスプレイの新配向技術に対応した先端材料



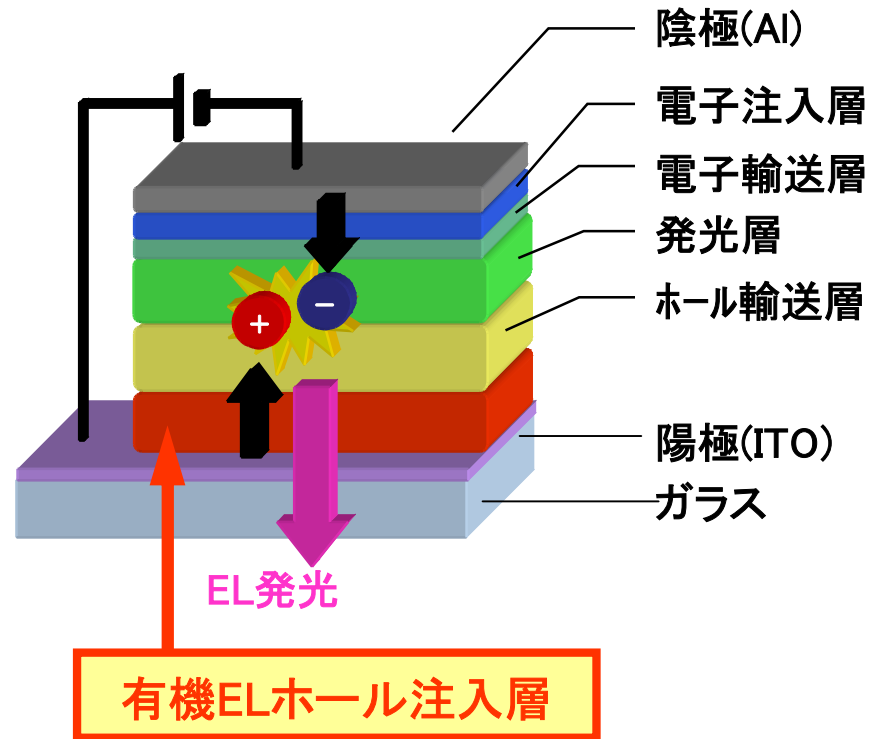
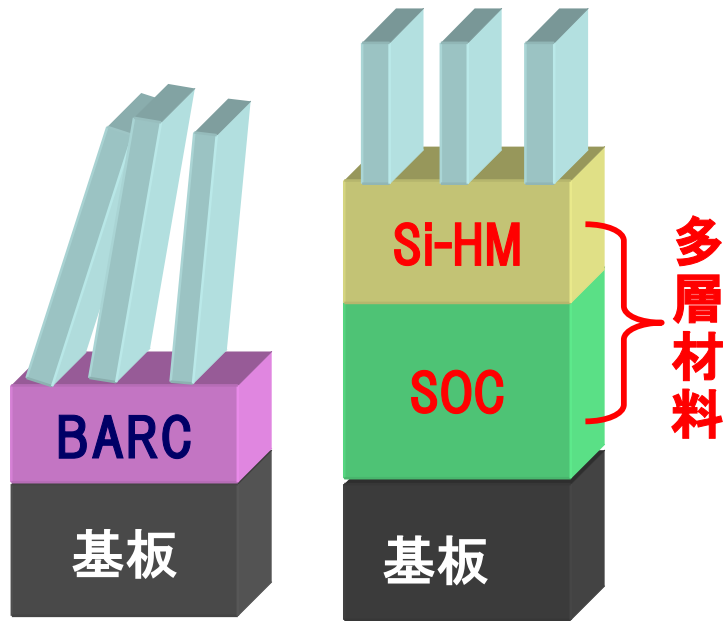
5) Stage IIにおける成長の源泉

機能性材料

半導体の微細化に伴い需要が伸長する多層材料
有機ELホール注入材

多層材料

有機ELホール注入材



5) Stage IIにおける成長の源泉

農業化学品

新製品の拡販

水稲用除草剤
アルテア



問題の根、は、
地下にありました。

ホタルイや多年生雑草の地上部を枯らすだけでなく、翌年の発生源となる塊茎の形成も抑えることができる。新成分「アルテア」配合の水稲用除草剤「ツインスター」が新登場。未来につながる雑草防除を、お勧めします。
※アルテアはメタリクス社の登録商標です。

誕生！ 多年生雑草も抑える新成分、「アルテア」配合の水稲用除草剤。

新成分「アルテア」はメタリクス社
「アルテア」
「アルテア」
「アルテア」

ツインスター
ツインスター
ツインスター

NEW NEW NEW

1400ml 700ml 1400ml

4つの混合剤を市場投入

ツインスター
問題雑草に強い

月光
ノビエにより長く

銀河
抵抗性雑草により強く

コメット
抵抗性雑草に効果アップ

売上高(ピーク)目標 60億円

5) Stage IIにおける成長の源泉

農業化学品

新製品の拡販

ラウンドアップ
マックスロードAL

動物薬

農家
2百万戸



一般家庭市場
25百万戸(戸建て)

犬・猫用(ノミ・ダニ)



一般家庭をターゲットとする販売
展開を加速(HC、ドラッグストア)

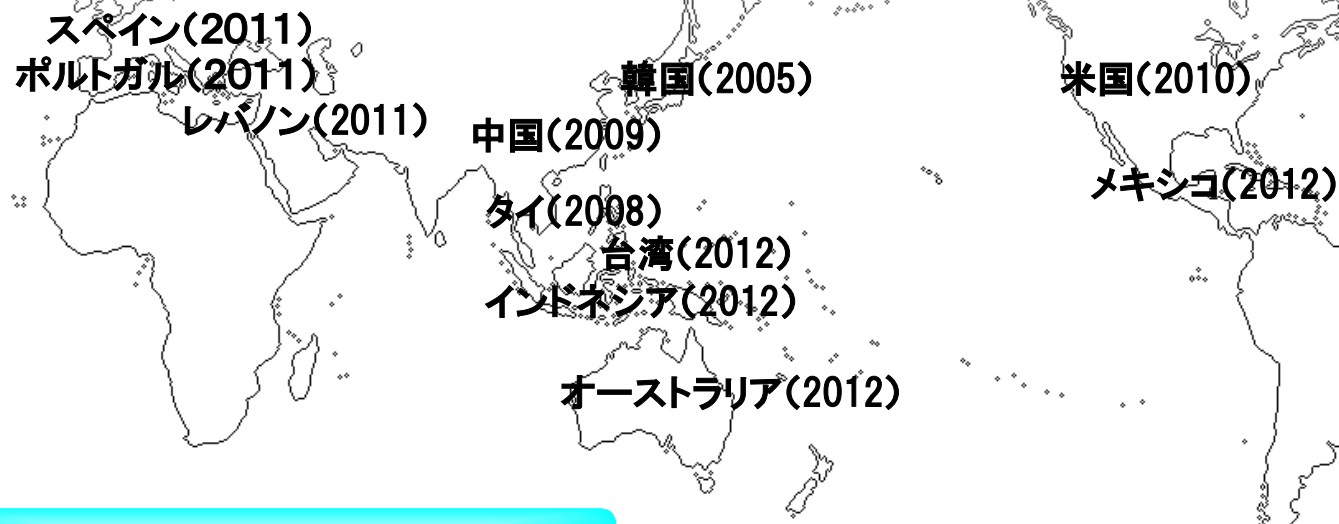
2014年上市予定

5) Stage IIにおける成長の源泉

医薬品

リバロ原薬の海外販売拡大
結晶形特許によるリバロ国内販売の防衛

リバロ海外での上市



リバロ国内特許

化合物特許
2013年8月 満了

結晶形特許
2013年1~2月 成立
2024年 満了

6) 2016年度以降に向けた取り組み

材料

ハイパーブランチポリマー

フッ素系表面改質材



透明フッ素コーティング
耐指紋・防汚コーティング

タッチパネル

高屈折材料

有機物として世界最高の屈折率実現



LED

半導体材料

半導体のさらなる高集積化



3次元実装材料 EUV材料

フレキシブルディスプレイ材料



電子書籍

6) 2016年度以降に向けた取り組み

ライフサイエンス

ナノファイバージェル

成分表示名称取得

(パルミトイル ジペプチド-18)



化粧品



医薬部外品・医療機器



3次元培養培地

がん細胞の非接着培養

対象培地



当社品



細胞が凝集塊を形成せず、均一に分散

6) 2016年度以降に向けた取り組み

ライフサイエンス

導入剤

野菜果樹水稲用殺虫剤
野菜果樹茶用殺虫剤
野菜果樹用殺菌剤



農薬

自社開発

野菜茶用汎用性殺虫剤
水稲用除草剤
殺菌剤



医薬

次期開発候補剤(疼痛、リウマチ、糖尿病治療薬)の開発

自社ライブラリおよび合成力活用による医薬メーカーとの共同創薬

6) 2016年度以降に向けた取り組み

研究開発



物質科学研究所(船橋市)



生物科学研究所(白岡市)

先端材料研究棟新設

新たな高機能材料の創出

2014年7月完工予定
投資額34億円

電子材料研究所(船橋市)

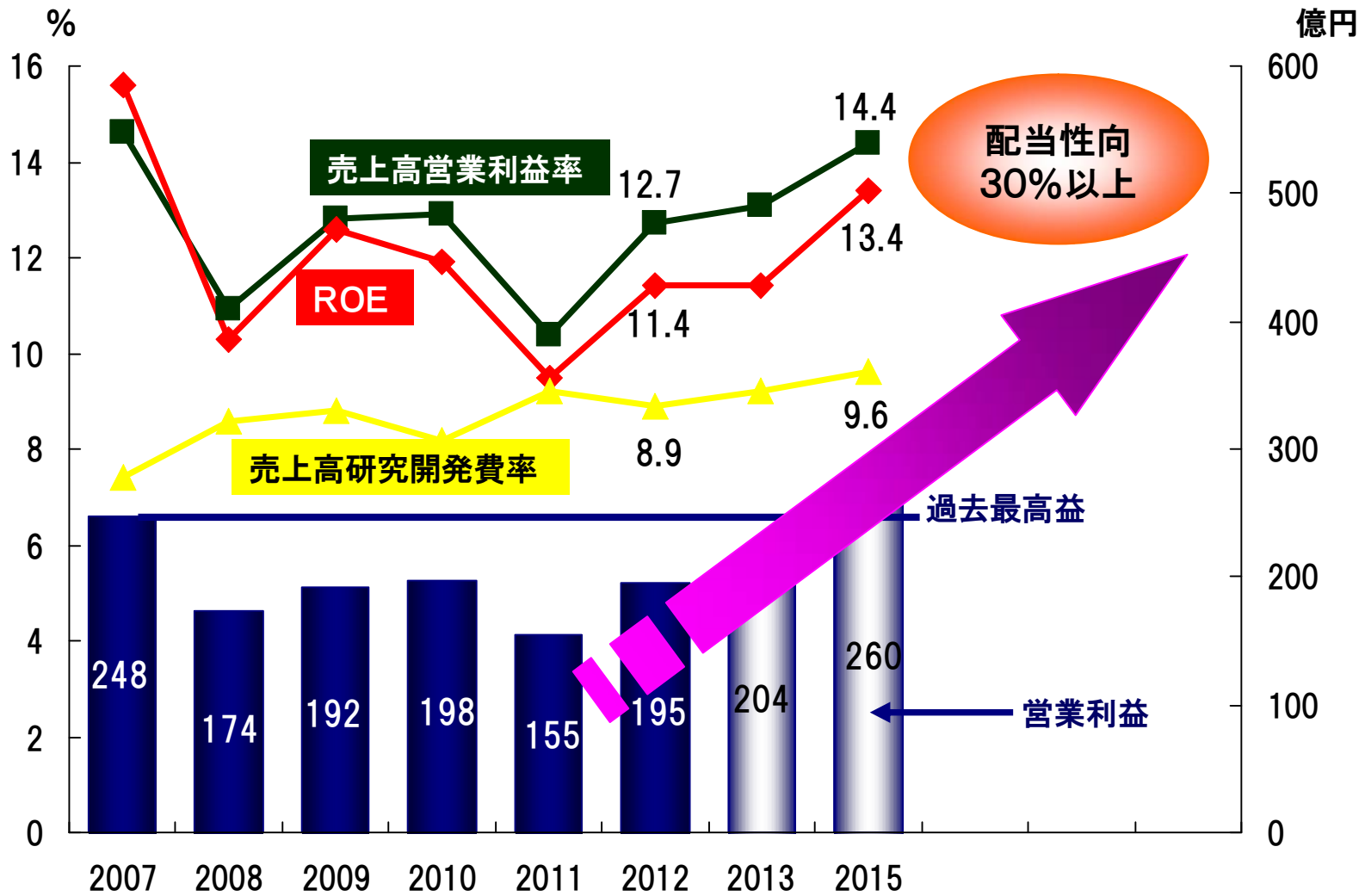


電子材料研究所(富山市)

無機材料研究所(袖ヶ浦市)



7) 経営指標



免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



ひとつひとつの製品に信頼のブランドを添えて